



# 紫光

令和5年度 冬休み号  
亀岡市立詳徳小学校

令和5年12月22日発行

【TEL】0771-24-5669

【HP】<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/site/esho/>



詳徳小ホームページ  
QRコード

## 2学期が終わりました

いよいよ年の瀬が迫り、2023年も終わりを迎えようとしています。本日終業式を終え、2学期が終了しました。たくさんの行事があった80日間の2学期、様々な場面で子ども達が精一杯頑張っている姿を見ることができました。これまでに培った力を3学期へと繋げていきたいと思えます。

さて、先日の京都新聞の凡語に、滋賀県にある木ノ本駅の紹介が掲載されていることに驚きました。実は偶然にもその4日前にこの駅を訪れていたからです。木ノ本駅は滋賀県長浜市にあるJR北陸本線の駅で、琵琶湖の北側、湖北にある駅です。かつては近江の国と越前の国を結ぶ街道の宿場町で、今も古い町並みが残っています。列車の本数は1時間に1本か2本程度の静かな駅です。コラムで紹介されていた内容は、この木ノ本駅の待合室に、本棚1つ分の小さな文庫「まちあい文庫」があるというものでした。誰でも読むことができ、返却期限なく誰でも借りられるそうです。「誰かの本の思い出があなたの思い出になりますように」「本との出会いがあなた自身との出会いになりますように」との思いを込めて、まち全体で読書に取り組まれていることが、小さな本棚から伺えました。全く違う目的で訪れた駅に、本というつながりがあったことは何かの縁なのだと感じました。

本校においても、学校司書の発案で「どうぞの本棚」をつくりました。ふぁみよみマーケットでご協力いただいた本を並べています。誰でもいつでも持って帰っていただけます。誰かの思いを次の人に「どうぞ」という思いで話す。そんな本棚になれば嬉しいです。

社会がめまぐるしく変化すると、それに対応することに精一杯となり、考え方や視野が狭まってしまうことがあります。そんなときこそ、次のこと、次の人のことを考えられる余裕や想像力を持ちたいものです。子ども達にも、次の人が履きやすいようにというやさしさを持ってほしいという意味を込めて「トイレのスリッパをそろえましょう」という話をよくします。「どうぞ」という言葉には人と人をつなぐ、相手を思う優しさが込められています。慌ただしくなる年の瀬ですが、ゆったりとした気持ちで「どうぞ」という言葉を使いたいものです。

いよいよ、明日から冬休みに入ります。休みの間には、クリスマス、お正月等の行事もあり、ご家族で過ごされることも多いかと思えます。健康管理にはくれぐれも気をつけていただきながらも、楽しいひとときを子どもたちとともに過ごしていただければ幸いです。

最後になりましたが、保護者の皆様、安全協力員の皆様、防犯推進委員をはじめ登下校の見守りをお世話になっている皆様、読書ボランティアの皆様、そして地域の皆様、本校を支えていただき、誠にありがとうございました。来年も皆様の優しさで、子どもたちを包み込んでいただきますよう、よろしくお願いいたします。

亀岡市立詳徳小学校長 平井 真理子

### クリスマスイベント開催!!

12月11日(月)のお昼休みに「おはなしの会ひまわり」さんによる読み聞かせイベントが行われました。クリスマスにまつわる絵本や紙芝居の読み聞かせに多くの子どもたちが聞き入りました。2学期もたくさんの本に親しませてくださった図書ボランティアの皆様、本当にありがとうございました!



### 校内書き初め展のご案内

子どもたちの書き初めを教室前廊下に掲示します。

令和6年1月12日(金)

15日(月)

16日(火)

15:30~18:00



ぜひ、ご来校ください。